

Point

- ① 卵管留水症は、不妊症の原因のひとつです。
- ② 卵管留水症を治療せず生殖補助医療(*1)を行っても、妊娠成績は不良です。
- ③ 治療には、卵管切除術、卵管結紮術、卵管開口術、卵管穿刺、卵管閉塞術といった手術療法が有効な場合があります。

卵管留水症とは？

卵管留水症(卵管留水種とも)は、卵管の中に分泌液が溜まって卵管が拡張した状態です。原因として、クラミジア感染症、子宮内膜症、異所性妊娠(子宮外妊娠)(*2)、腹部手術の経験などが挙げられます²⁾。主な症状として、おりものの増加、不正性器出血、腹痛などがあり、不妊症の原因となります。

卵管留水症は、超音波検査や子宮卵管造影検査により、卵管の拡張を確認することで診断します。月経周期によって卵管が拡張する度合いが変動することがあるため、月経周期を変えて、再度検査を行うこともあります¹⁾。

卵管留水症の人の不妊治療

タイミング法や人工授精などの一般不妊治療で妊娠に至らない場合は、生殖補助医療や手術療法を検討します。しかし、卵管留水症を治療しないまま生殖補助医療を行っても、妊娠成績は不良であるといわれています³⁾。

手術によって術後の生殖補助医療の治療成績が改善したという報告があります⁴⁻⁶⁾。手術療法には以下の方法があります。

卵管切除術	卵管を切って取り除く手術。腹腔鏡で行われることが多い。
卵管開口術	卵管の一部を切って、液体が腹腔内に流れ出るようにする手術。腹腔鏡で行われることが多い。
卵管結紮術	卵管に溜まった液体が子宮に流入しないように、卵管と子宮の間を縛る手術。腹腔鏡で行われることが多い。
卵管閉塞術	卵管に溜まった液体が子宮に流入しないように、卵管の最も子宮に近い部分に、内側から塞栓物質を詰める手術。子宮鏡を用いて行う。
卵管留水症穿刺術	卵管に針を刺し、卵管に溜まった液体を吸い出す方法。主に経腔超音波で見ながら行う。

用語解説

*1:生殖補助医療(ART:Assisted Reproductive Technology)

一般不妊治療に比べてより専門的な不妊治療。卵子と精子を体外に取り出して受精させてから子宮に戻す体外受精、受精を人工的に行う顕微授精、受精卵(胚)を子宮に移植する胚移植などの総称。

*2:異所性妊娠(子宮外妊娠)

受精卵が、子宮腔以外の場所で着床し、生育した状態。

【参考文献】

- 1) Osuga Y, et al.: A case of hydrosalpinx associated with the menstrual cycle. Fertil Steril. 90(1):199, e9-11, 2008. PMID: 17920593
- 2) Gorwitz RJ, et al.: Population-attributable fraction of tubal factor infertility associated with chlamydia. Am J Obstet Gynecol. 217(3):336, e1-336.e16, 2017. PMID: 28532600
- 3) Capmas P, et al.: Management of Hydrosalpinx in the Era of Assisted Reproductive Technology: A Systematic Review and Meta-analysis. J Minim Invasive Gynecol. 28(3):418-441, 2021. PMID: 32853797
- 4) D'Arpe S, et al.: Management of hydrosalpinx before IVF: a literature review. J Obstet Gynaecol. 35(6):547-550, 2015. PMID: 25436898
- 5) Chu J, et al.: Salpingostomy in the treatment of hydrosalpinx: a systematic review and meta-analysis. Hum Reprod. 30(8):1882-1895, 2015. PMID: 26082479
- 6) A Tsiami, et al.: Surgical treatment for hydrosalpinx prior to in-vitro fertilization embryo transfer: a network meta-analysis. Ultrasound Obstet Gynecol. 48(4):434-445, 2016. PMID: 26922863